

ご祝辞

稲田新吾

京都市教育長

正義の心を常に持った逞しい青年へ



伝統ある京都武徳殿にて

第10回全日本居合道選手権大会 形が、今年も伝統ある京都武徳殿にて盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

また、340年の歴史を誇り、健全な精神と身体育成に多大な寄与をされる本大会の開催に御尽力いただいております。武田鵬玉会長をはじめ、国際居合道連盟鵬玉会の皆様に深く敬意を表します。

礼儀や忍耐力、姿勢や呼吸

居合道は、日本古来の古武道を受け継ぎ心身鍛錬の道を極める伝統武道であります。居合道により身につけた、礼儀や忍耐力、そして姿勢や呼吸を正すことで培われる健全な精神力は、日頃の弛まぬ稽古で磨き上げられた賜物であり、日々の生活を送る上でも非常に重要なものです。

お互いの武勇を称え合い

本大会においても「形」、「組太刀」、「試し斬り」の3つを制覇する「グランドスラム」を目指し、日頃の修練の成果を存分に発揮していただくことはもとより、試合後は、自らの力を出し切る

ことができたかを顧み、精一杯戦った相手とお互いの武勇を称え合い、感謝の心を持つことが何よりも大切です。そのことが皆さんの「心」と「身体」を成長させてくれる糧となることと存じます。

若い剣士の皆さんは、今後とも修練を重ね、居合道を通じて立派な武道家としてだけではなく一人の人間として正義の心を常に持った逞しい青年へと成長されますことを心より願っております。

結びに、国際居合道連盟鵬玉会のおますの御発展と関係者の皆様の御健勝を心からお祈り申し上げます。